

## 財政収支(1-7月)

(1) 1-7月の歳入は前年同期比91.3%増、税収は同86.4%増。歳出は前年同期比91.8%増。  
 (2) 結果として1-7月の財政収支は8,439.60億リラの赤字(前年同期比94.2%増)、プライマリーバランスは1,769.97億リラの赤字(同45.4%増)。

データ:財務省 単位:億リラ

歳入・歳出内訳	2023年1-7月(A)	2024年1-7月(B)	増加率 ((B-A)/A)
歳入(a)	23,847.63	45,622.95	91.3%
税収	20,526.28	38,251.06	86.4%
所得税	3,299.53	7,397.71	124.2%
法人税	3,123.35	4,801.78	53.7%
付加価値税(国内及び輸入)	6,880.56	12,657.65	84.0%
特別消費税	4,086.46	7,435.15	81.9%
その他税収	3,136.38	5,958.77	90.0%
税外収入等	3,321.35	7,371.89	122.0%
歳出(b)	28,194.16	54,062.54	91.8%
人件費	6,972.60	15,318.06	119.7%
物品及びサービスの購入	1,914.06	3,306.43	72.7%
経常移転	12,251.31	21,058.29	71.9%
資本支出	1,624.65	3,726.70	129.4%
支払利子(c)	3,129.51	6,669.62	113.1%
その他歳出	2,302.03	3,983.44	73.0%
財政収支(a-b)	▲ 4,346.54	▲ 8,439.60	▲ 94.2%
基礎的財政収支(a-(b-c))	▲ 1,217.03	▲ 1,769.97	▲ 45.4%

## 経常収支(2024年1-6月)

(1) 2024年1-6月の経常収支は、166.14億ドルの赤字(前年同期は366.60億ドルの赤字)。  
 (2) 2024年1-6月の貿易収支(物品)は306.36億ドルの赤字で前年同期から赤字幅減少、旅行収支は182.07億ドルの赤字で前年同期から黒字幅拡大。

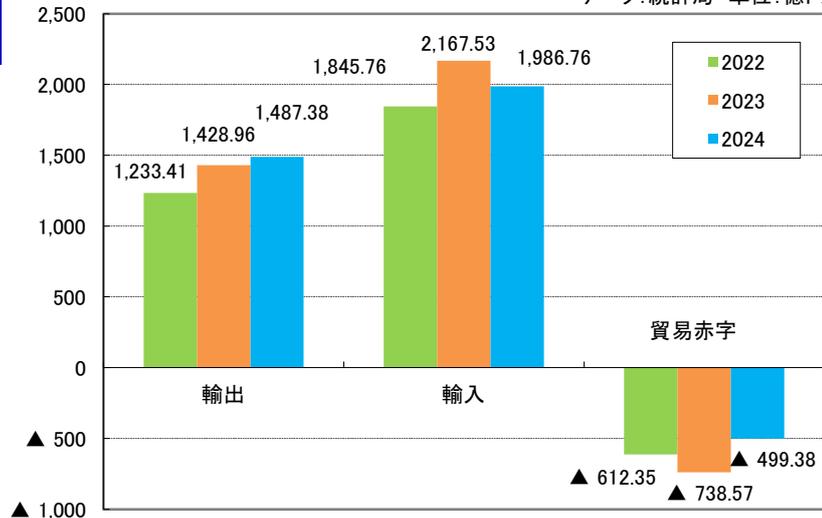
データ:中央銀行 単位:億ドル

内訳	2023年1-6月(A)	2024年1-6月(B)	増加率 ((B-A)/A)
経常収支	▲ 366.60	▲ 166.14	54.7%
貿易収支(物品)	▲ 509.67	▲ 306.36	39.9%
サービス収支	200.21	213.81	6.8%
旅行収支	159.20	182.07	14.4%
第1次所得収支	▲ 59.91	▲ 73.17	▲ 22.1%
第2次所得収支	2.77	▲ 0.42	▲ 115.2%
労働者送金	1.22	0.44	▲ 63.9%
資本移転等収支	▲ 0.85	▲ 0.28	67.1%
金融収支	▲ 450.22	▲ 237.96	47.1%
直接投資	▲ 22.67	▲ 19.93	12.1%
証券投資	11.11	▲ 121.65	▲ 1195.0%
その他投資	▲ 173.33	▲ 33.63	80.6%
外貨準備	▲ 265.33	▲ 62.75	76.4%
誤差脱漏	▲ 265.33	▲ 71.54	73.0%

## 貿易収支(1-7月)

(1) 1-7月の輸出額は1,487.38億ドル(前年同期比4.1%増)、輸入額は1,986.76億ドル(同8.3%減)となり、この結果、貿易収支は499.38億ドルの赤字(同32.4%赤字幅縮小)となった。  
 (2) 1-7月の輸出額におけるEU向け輸出の占める割合は42.0%(前年同期は42.3%)、輸入額におけるEUからの輸入の占める割合は32.4%(前年同期は28.6%)となっている。

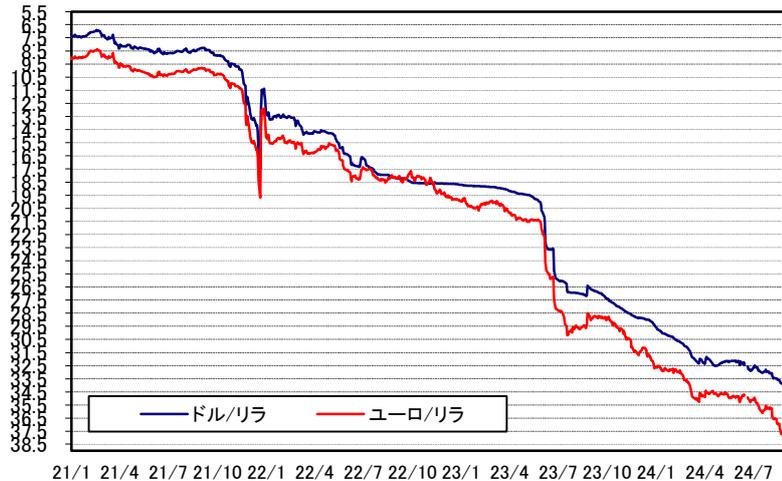
データ:統計局 単位:億ドル



## 為替(8月)

中東地域における地政学リスクが意識され、8月は対ドル・ユーロともにリラ安方向。月末時点では1ドル=33.96リラ(前月末比2.6%安)、1ユーロ=37.82リラ(同5.6%安)となった。

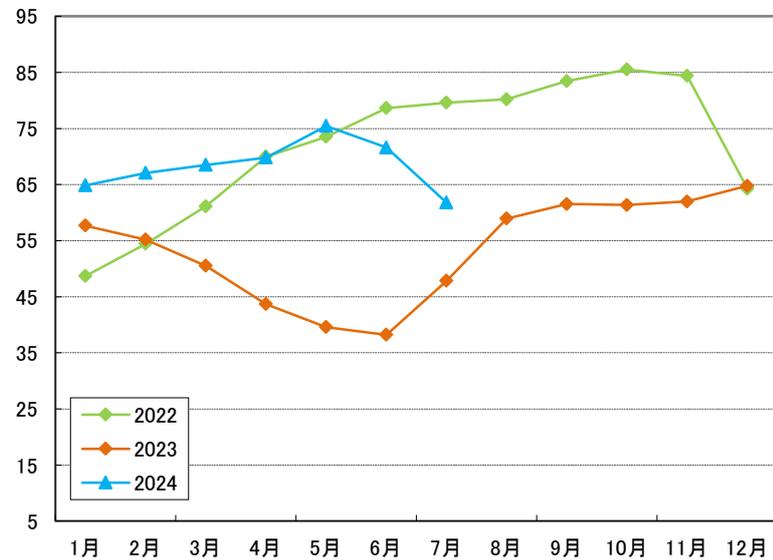
データ:中央銀行 単位:リラ



## 消費者物価上昇率(7月)

- 7月の消費者物価は前年同月比61.78%増、前月比3.23%増。
- 項目別にみると、前年同月比104.50%で教育が、前月比8.08%で住居が最も上昇した。
- 2024年末のインフレ率の中銀目標(8/8時点)は前年同月比38%。
- 国内生産者物価指数(7月)は前年同月比41.37%増、前月比1.94%増となった。

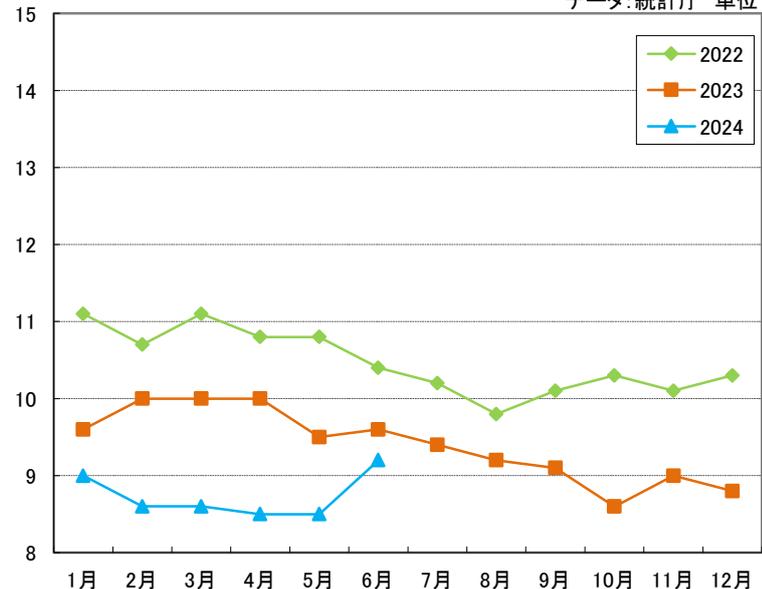
データ:統計庁 単位:前年同月比(%)



## 失業率(6月)

- 6月の失業率(季節調整後)は9.2%となり、前月から0.7ポイント上昇。
- 労働力人口は3,582.7万人、就労者数は3,252.2万人、失業者数は330.5万人。
- 男性の失業率は7.6%、女性は12.4%。若年層(15-24歳)の失業率は17.6%となっている。

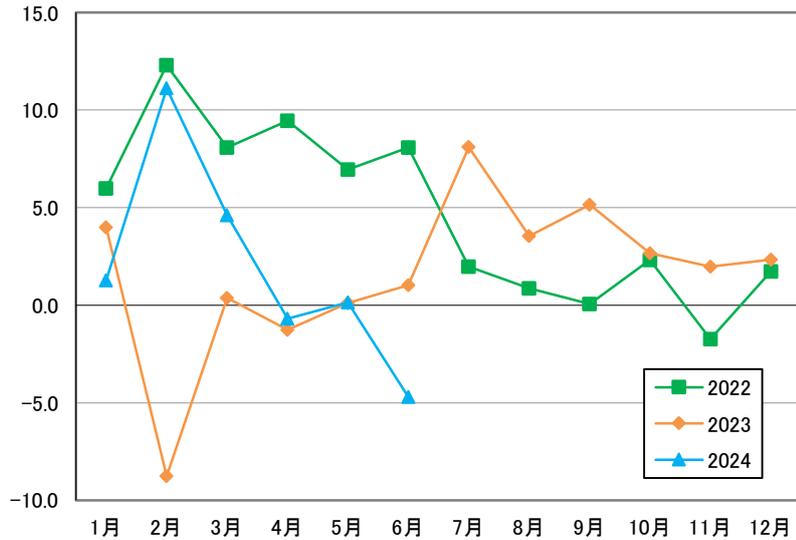
データ:統計庁 単位:%



## 鉱工業生産(6月)

(1)6月の鉱工業生産指数は、前年同月比(日数調整後)4.7%減。  
 (2)分野別では、耐久消費財が前年同月比9.1%減、資本財が同5.6%減、中間財が同6.1%減となった。

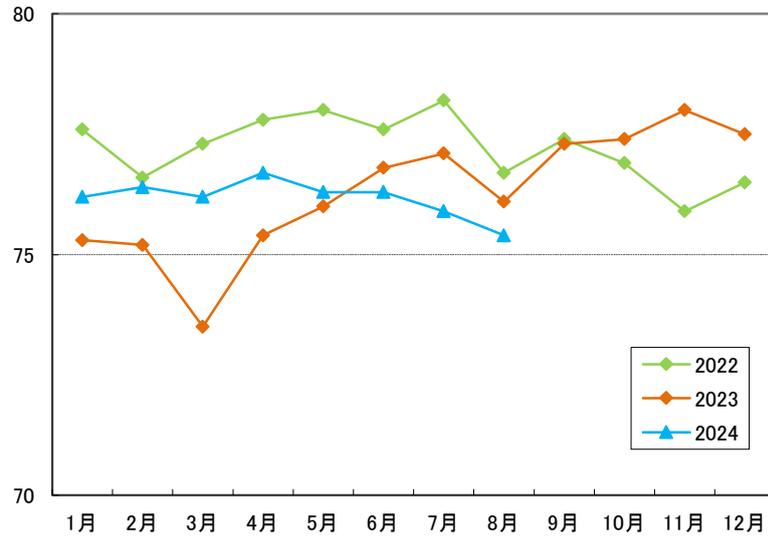
データ:中央銀行 単位:前年同月比(%)



## 設備稼働率(8月)

(1)8月の設備稼働率は75.4%となり、前年同月から0.7ポイント減少し、前月から0.5ポイント減少。  
 (2)製造業の分野別では、パルプ・紙・紙加工品製造業(83.8%)が最も稼働率が高く、皮革及び関連製品製造業(60.6%)が最も低い稼働率であった。

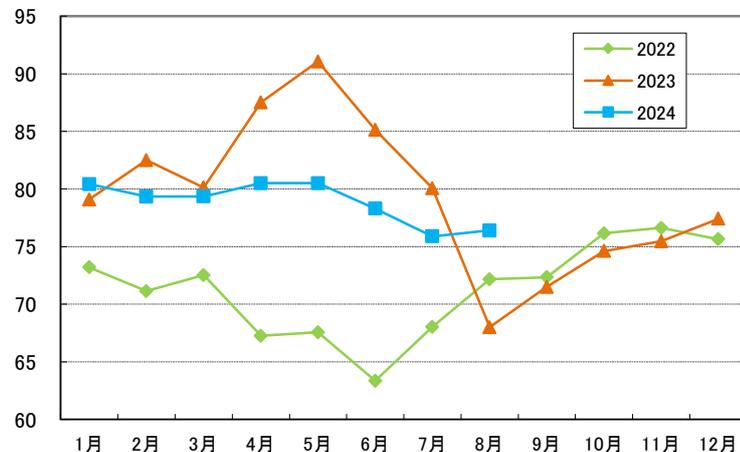
データ:中央銀行 単位:%



## 消費者信頼感指数(8月)

(1)8月の消費者信頼感指数(季節調整値)は76.4ポイントとなり、前月から0.5ポイント上昇。  
 (2)内訳では、「現在の家計の財政状況」、「今後12か月間の家計の財政状況見通し」及び「今後12か月間の一般経済状況見通し」は前月から上昇、「今後12か月間の耐久消費財への支出見通し」は前月から低下。

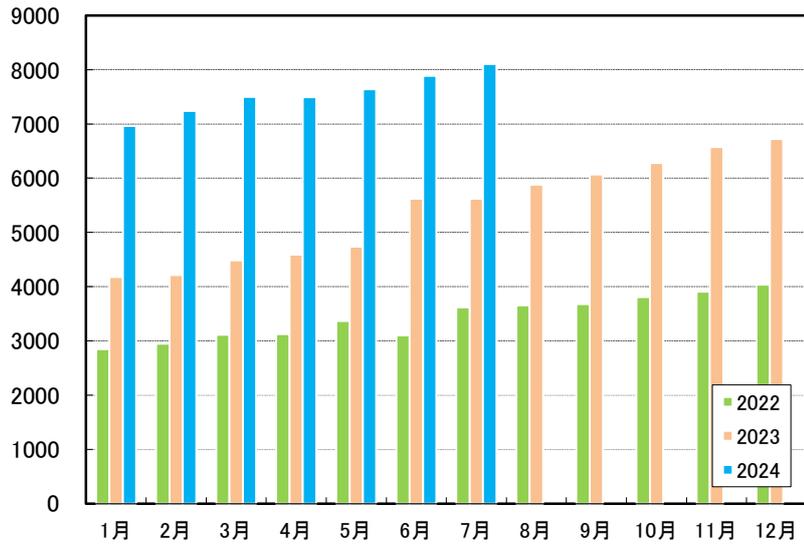
データ:統計庁 単位:ポイント



## 中央政府債務残高(7月)

(1)7月末時点での中央政府債務残高は8兆1,060億リラとなり、前年同月比44.3%増、前月比2.8%増となった。  
(2)また、国内債務比率は49.6%、自国通貨債務比率は40.4%(2023年末は35.8%)となっている。  
(3)なお、債務残高のうち円は0.7%で、外貨ではドル、ユーロに次ぐ地位を占めている。

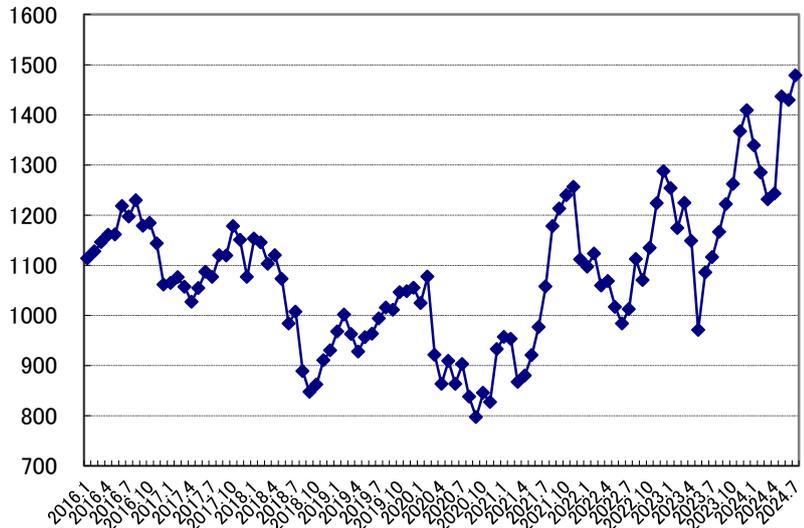
データ:財務省 単位:10億リラ



## 外貨準備高(7月)

(1)7月末時点での中央銀行の外貨準備高(金を含む)は1,478.50億ドルとなった。  
(2)前月から494億ドル増加した。

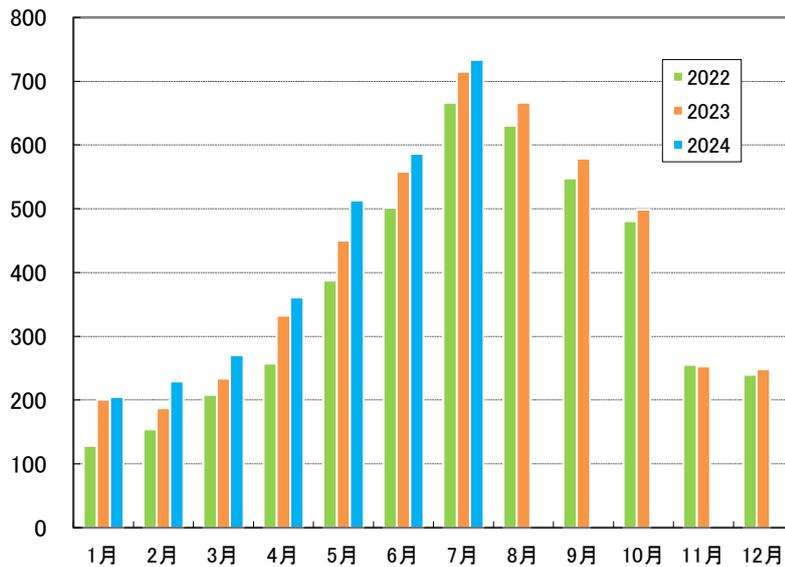
データ:中銀 単位:億ドル



## 外国人訪問者数(7月)

(1)7月の外国人訪問者数は7,333,812人で、前年同月比2.60%増。日本は10,658人であった(前年同月は8,012人)。  
(2)国別ではドイツが最も多く、1,035,466人で全体の14.12%を占め、以下、ロシア(922,294人)、英国(660,906人)となっている。

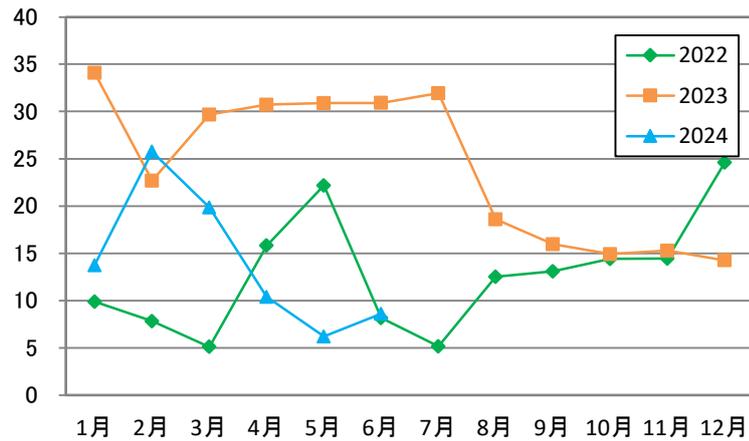
データ:文化観光省 単位:万人



## 小売売上高(6月)

(1)6月の小売売上高は前年同月比(日数調整後)8.6%増、前月比(季節及び日数調整後)1.7%増。  
 (2)内訳は食品・飲料・タバコが前年同月比10.5%増、情報・通信機器が同23.3%増となった。

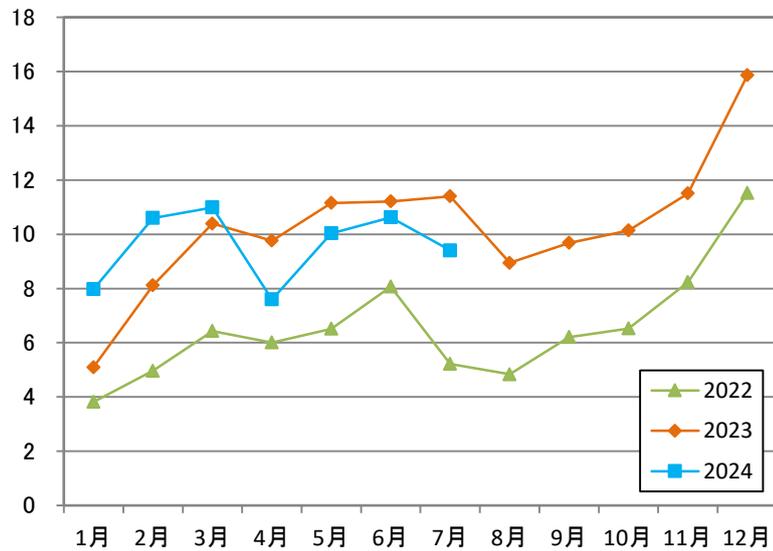
データ:統計庁 単位:前年同月比(%)



## 新車販売台数(7月)

(1)7月の新車販売台数は94,037台で前年同月比17.48%減。  
 (2)7月の内訳は乗用車が73,396台(前年同月比16.0%減)、小型商用車が20,641台(同22.2%減)となった。

データ:自動車販売協会 単位:万台



## 住宅販売戸数(7月)

(1)7月の住宅販売戸数は127,088戸で前年同月比16.01%増となった。  
 (2)7月は新築が40,784戸(前年同月比28.9%増)、中古が86,304戸(同10.8%増)。  
 (3)7月の住宅ローンでの購入は11,496戸(前年同月比20.9%減)、その他が115,592戸(同21.7%増)。

データ:統計庁 単位:万戸

